

年収入二百八十八万円

普及会 事業に多くの実行案

日本塗料普及会では十三日、東京・東部ビル会議室で委員会を開き、四十二年度収入および事業計画について協議した。

収入は年額二百八十八万円(日塗上分)日塗上分月額十八万円、商運同六万円)に内定したが、これは今年度よりも若干増加して四十年年度と同額である。

支出の内わけは①傳報費百八万円②地方補助費四十万円③婦人団体 教材用三十万円④ボス太一三十万円⑤壁新聞三十万円⑥展示会二十万円⑦その他十五万円⑧標語関係十万円⑨予算費五万円となっている。このうち大口の傳報費関係は来年度から東京側へ本拠を移すという。

また事業計画ではこれまでのマンネリ化から脱皮するため、数多くの実行案が出ているが、その主なものは①中・高校を対象に、それを世話してあげたことがあった。

その学生が昨年大車会社に就職したところより、月給も大分安いが、勤務時間も長かった。それでもがんばってやるという張り切っていたので、私も初心忘るべからずと激励してやった。

しかし本人は、月給が安いので、親に小遣いの応援を求めた。

材質の統一と出品割り当て

開催 第12回建築塗装コンクール

日塗装建築技術コンクール委員会ではこのほど委員会を開き、明年三月開かれる第十二回建築塗装技術コンクールの開催要領について検討した結果、材質をラワン材に統一する②出品点数を各支部に割り当てる③色見本の色相を二色指定する④の三点を確認、その他は例年通りにすることに決定した。

材質については材質によって仕上がり工合が違い、これが審査に公平を欠く恐れがあるため統一することになった。しかし、スレートは従来通り残すことになった。

また出品塗装板の支部割り当てについては、これまで出品点数が一部地区に片寄っていたため、ほとんど全支部から出品することになった。

日本無機顔料協会の集計によると、無機顔料十品目の十月生産量は、前月に比べてやや下

である。なお同普及会と下部組織として、塗料部会を設けようという問題は来年一月の委員会で改めて検討することになった。

組合の出資金 五百万円増資
神奈川塗装協組

神奈川県塗装工業協組ではこのほど組合の出資金を五百万円増資することを決定、十五日に払い込みを完了した。これによって組合の出資金は総額一千五百万円になった。

依然高水準保つ

十月 無機顔料十品目生産

降したが、依然として高水準を示している。これを品目別にみると、紺青

最高級品を奉仕価格で!

トアラッカー

#500 · #400 · #350

東亜ペイント

四年間を、同じ屋根の下で暮らすには、いろいろのことがあったと思うが、それから何年経っても、親切なおばさんであったよ、お互いに親しみ合う話は聞いていても気持ちがいい。

そのおばさんが、下宿させている学生が二年も浪人しているの、とても善良な子供だから来年こそはどうしても合格させてやりたいと、大阪から親を呼んで、今から私のところに頼みにきている。私もできるだけの骨を折って、おばさんの親切に答えてあげたいと思っている。

情は人のためならず。親切がそれを施した本人のところに戻ってきた話である。

親切が戻った話

有馬 順二

親にしてみれば、子供を学校で勉強させたことが直接経営に役立ったわけではないが、学校で学生時代に厄介になったのが二人いる。一人は大阪に、もう一人は名古屋にいて、二人とも東京にくる機会があると、この家を訪ねてくるようである。

有馬 順二

親にしてみれば、子供を学校で勉強させたことが直接経営に役立ったわけではないが、学校で学生時代に厄介になったのが二人いる。一人は大阪に、もう一人は名古屋にいて、二人とも東京にくる機会があると、この家を訪ねてくるようである。

×ラミン樹脂焼付塗料

ナゴヤスメロン

名古屋塗料

出 荷	八六六 (九)
塗 料	三三二(二〇〇〇)
△染色レーキ	
生 産	五一(二〇四)
出 荷	四九(二〇〇)
△紺青	
生 産	二九四(二二)
出 荷	三〇三(二二)
塗 料	五四 (八)
△モリブデン赤	
生 産	二四(二〇)
出 荷	二二(二〇)
塗 料	六七(二二)
△群青	
生 産	六七 (六)
出 荷	七一 (九)
塗 料	七 (八)
△シンクロクロムト	
生 産	八九 (八)
出 荷	八一 (七)
△ほう酸鉛	
生 産	一九(二)
出 荷	一九(二)
△ほう酸マンガ	
生 産	五 (五)
出 荷	五(二〇)
△新洋紅	
生 産	二二(三)
出 荷	一一(二)
△鉄 黒	
生 産	六 (五)
出 荷	六 (四)

技能検定委員委

東京都が広美工業 東京都労働局職業訓練部 検定課ではこのほど、四十九年度広告美術工技能競技大会に当たり、つぎの六氏を検定委員に委嘱した。

玉井義雄(巧芸社) 加藤(カトイサイ) 松本(荒木太) 荒木太(荒木太) (文化宣伝) 長谷川一郎(商工工業) 長谷川一郎(商工工業) 上谷豊司(創造社)

①仕上げがうまくいかなかった。 沢、半光沢エナメルおよびアルミ、SPHERO が最もよく、ついでこのラッパは、内装に用いられる。 SPHERO が耐用、ラッパは塗装員業者も、その質面に条件付きの回答を与え、三八業者の四五・八%が品質、一〇%が価格を強調して、